

医師紹介



外科医の育成に貢献していきたい

留萌市立病院副院長

越 湖 進

昨今、勤務医不足、特に産婦人科や小児科医不足が社会問題となっていますが、実は外科医不足も深刻な状況となっています。

平成19年4月に大阪で開催された日本外科学会の会長講演は、日本外科学会の外科志望者数が昭和63年をピークに減少し続け、このまま減少し続けると平成27年には外科志望者はゼロになってしまうという衝撃的なものでした。

そこには、外科医が独り立ちできるまでに長い年月を要すこと、外科勤務医の過酷な労働環境、医療紛争のリスクなどが比較的多いことなどから、敬遠されるようになっている実態があります。

当院においても私を含め外科常勤医が2名という厳しい状況がありましたが、お陰様で現在は4名の常勤医師数に回復し、大学病院からの若手医師派遣も得られるようになりました。

今後は微力ながら、外科のやり甲斐と、厳しさの中の楽しさを伝え良質な外科医を一人でも多く育てていきたいと思う今日この頃です。